

News Release

2015年3月3日(火)
コアネットインタナショナル株式会社

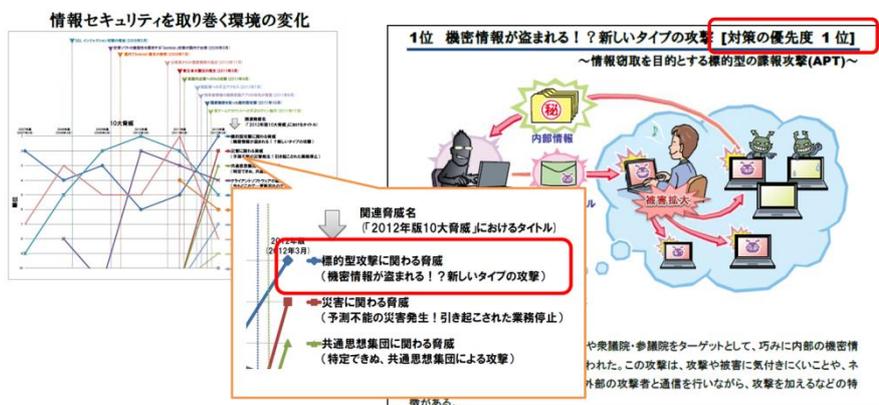
「入口・出口対策ソリューション」の販売を開始

ー 標的型攻撃 (APT) を防ぐセキュリティソリューション ー

コアネットインタナショナル株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長 大内 幸史、以下CNI)は、企業・組織そして社会の諸活動を脅かす標的型攻撃(APT)に対して、企業向け統合型セキュリティソリューションのグローバルリーダである WatchGuard (R) Technologies の日本法人である、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、社長執行役員 根岸 正人、以下ウォッチガード社)と協業し、ウォッチガードの UTM (統合脅威管理) / NGFW (次世代ファイアウォール) 製品を活用した新たなネットワークセキュリティソリューション「入口・出口対策ソリューション」の販売を開始しました。

1. 背景

年々複雑化・多様化している標的型攻撃(APT)に対して様々な警鐘が鳴らされてきており、セキュリティインシデントも増加傾向にあります。

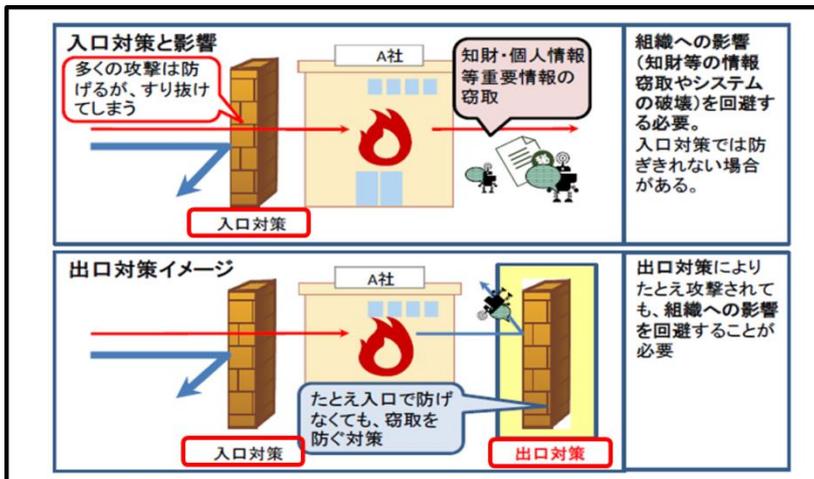


2012年版 10大脅威 変化・増大する脅威! (出典:IPA)

標的型攻撃（APT）を受けた場合、入口対策（ファイアウォール等）やエンドポイント対策（サーバ・クライアントのマルウェア対策）を行っていても、情報漏洩につながる可能性がぬぐいきれません。

コアネットインタナショナルでは、こうした現状をうけ、当社の「入口・出口対策ソリューション」の一環として標的型攻撃（APT）対策の強化を図るために、今回ウォッチガード社の実績豊富な UTM/NGFW 製品の「APTBlocker」を提供サービスとして提供することとなりました。

また、万が一侵入された場合は、出口で搾取を防ぐ対策をとり、情報の外部への流出を回避することができます。



「新しいタイプの攻撃」対策に向けた設計・運用ガイド 改定第2版（出典:IPA）

2. 特徴

・コアネットインタナショナルが 30 年にわたり 24 時間 365 日の運用・監視のノウハウ・テクノロジーと、2013 年 9 月 17 日竣工の新データセンター「コアクラウドセンター」のファシリティを融合し、新たなクラウドサービスの提供を開始しています。その一環として、運用・監視を含めたソリューションとして提供を開始します。

・コアネットインタナショナルのクラウドサービスのオプションとして「入口・出口対策ソリューション」の提供を開始しました。高度な標的型攻撃（APT）対策が施されたクラウドサービスが安価な月額費用でご利用できます。

・コアグループで長年培ったエンドポイントのネットワークセキュリティの仕組みとともに全方位のセキュリティソリューションを提供します。

・ウォッチガード社の「UTM/NGFW」製品の優れた機能

1) APTBlocker（フルシステムエミュレーションのサンドボックス機能）

物理ハードウェアもシミュレートし、マルウェアの動作を完全に把握して可視化するため、先進的なマルウェアであっても検知をすりぬける事が困難です。

2) 高いスループットを実現

アンチウイルス、迷惑メール対策、Web フィルタリング、IPS（不正侵入検知・防御）、アプリケーション制御の全てのセキュリティ機能を利用した場合でも、高いスループットを実現し、ネットワークのボトルネックにはなりません。

3) WatchGuard Dimension (セキュリティの可視化)

膨大なネットワークセキュリティデータを可視化し、問題の特定やセキュリティポリシーの改善に大きく役立ちます。

3. 販売開始

2015年3月3日(火)

コメント：(ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 社長執行役員 根岸正人)

「このたび、コアネットインタナショナル様の包括的なネットワークセキュリティソリューションの一環として、弊社のベストオブブリードの情報セキュリティアプライアンスが入口対策として採用されたことを大変光栄に思います。コアネットインタナショナル様の長年の実績を生かした監視体制を含め、まさに総合的な情報セキュリティサービスが完成し、多くのおお客様にご利用いただけることを期待しています。」

■ ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社について

WatchGuard (R) Technologies は、業界標準ハードウェア、ベストオブブリードセキュリティ、ポリシーベースの管理ツールを独自アーキテクチャにより統合したビジネスセキュリティソリューションを提供するグローバルリーダとして、全世界の企業にセキュリティソリューションを提供しています。ウォッチガード製品は、複数のセキュリティサービス、シングルコンソールによる導入と管理、インテリジェントに統一された脅威管理を統合し、すべての規模の企業に安全なビジネスの継続を支援し、先進的な独自のサポートプログラム LiveSecurity (R) により守られています。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテンアメリカに支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多くのパートナーを通じて、アプライアンス製品、セキュリティの「可視化」、セキュリティとネットワークの「管理」など拡大するニーズへのソリューションを提供しています。詳細は <http://www.watchguard.co.jp> をご覧下さい。

■ コアネットインタナショナル株式会社について

コアネットインタナショナル株式会社は、株式会社コアを中心とするコアグループ4社が VAN 事業へ進出することを目的に 1984年10月に設立いたしました。超大型メインフレームによる大規模情報通信事業として複数企業間オンライン情報処理サービスを提供し、1997年からはオープンシステムへ移行し現在に至っております。設立時よりデータセンターの24時間365日の運用・監視業務の経験とノウハウを蓄積しております。2013年9月17日竣工の新データセンター「コアクラウドセンター」を利用して幅広いクラウドサービスをご提供しております。

■ 株式会社コアについて

1969年創業の東証1部上場企業。マイコンを搭載した組込み機器が社会に登場した草創期から組込みソフトウェア開発事業を開始し、またOA化や銀行のオンライン化が始まった当初からエンタープライズソフトウェア開発事業を手がけ、長年の経験と実績、豊富なエキスパート人材を数多く有しています。近年は、マーケットアウト指向のSIサービス、豊富な製品、ソリューションサービスとともに、IoT (Internet of Things) の取組みとして組込みソフトウェアの技術や応用ノウハウを結実させたM2M (Machine to Machine) 関連製品や2005年から事業を開始しているGNSS関連製品など、次世代に向けたソリューション提供に注力しております。

News Release



■ 投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、取引所開示情報である決算短信等をご参照ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

■ 本製品に関するお問い合わせ先

コアネットインタナショナル株式会社
営業統括部
山石
TEL : 03-3795-5111
E-Mail : cni-info@corenet.ne.jp

■ 報道関係のお問い合わせ先

株式会社コア
経営管理室
広報担当
荒井
TEL : 03-3795-5111
E-Mail : coo-office@core.co.jp